

# Tanaka

## 取扱説明書

保証書付

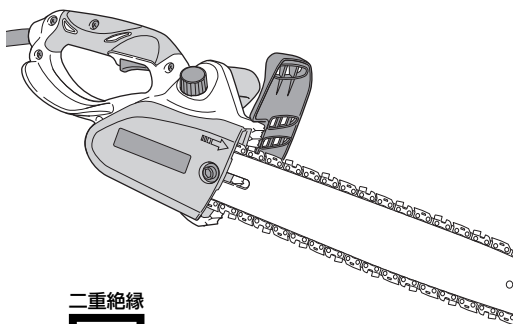
用途

- 木材や丸太の切断
- 庭木の枝打ち、伐採

# タナカ チェンソー

## TCS 30SA TCS 35SA

このたびは弊社製品をお買い上げいただき、  
ありがとうございました。  
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、  
正しく安全にお使いください。  
お読みになった後は、いつでも見られる所に  
大切に保管してご利用ください。



二重絶縁



TCS 35SA

チェンソーを快適にをお使いいただくには、チェン刃の適切な張り具合やチェーンオイルの供給が欠かせません。  
詳しくはP.9～P.10を参照してください。

本製品は日本国内用のため、日本国外で販売または使用することはできません。日本国外で使用した場合は、仕様の性能を発揮できない恐れがあります。日本国外では、修理または保証を受けられません。

This product may be used only in Japan and should not be sold or used in any other country. Otherwise, product may not perform as intended. No authorized service or warranty is available outside of Japan.

電動工具の安全上のご注意	1
二重絶縁について	4
本製品の使用上のご注意	4
各部のなまえ	7
標準付属品	7

はじめに

ご使用前の準備	8
ご使用前の点検	9
木材を切断する 切り方の基本 / 枝落とし 玉切り / 伐採作業	11
チェン刃の目立て	14
チェン刃の交換	15

使い方

点検とお手入れ	17
別売部品の紹介	19
故障かな・・・というときは	20
仕様	21
ご修理のときは	22
保証書	裏表紙

その他

## ⚠️ 危険、⚠️ 警告、⚠️ 注意、📌 注 の意味について

ご使用上の注意事項は「⚠️ 危険」、「⚠️ 警告」、「⚠️ 注意」、「📌 注」に区分しており、それぞれ次の意味を表します。

**⚠️ 危険** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を即時に負う事が想定される内容のご注意。

**⚠️ 警告** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

**⚠️ 注意** : 誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

**📌 注** : 製品のすえ付け、操作、メンテナンスに関する重要なご注意。

なお、「⚠️ 注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

## 電動工具の安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- 使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### ⚠️ 警告

- ① **作業場は、いつもきれいに保ってください。**  
ちらかった場所や作業台は、事故の原因になります。
- ② **作業場の周囲状況も考慮してください。**
  - 電動工具は、雨の中で使用したり、湿った、または、ぬれた場所で使用しないでください。
  - 作業場は十分に明るくしてください。
  - 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
- ③ **感電に注意してください。**  
電動工具を使用中、身体を、アース（接地）されているものに接触させないようにしてください。  
(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
- ④ **子供を近づけないでください。**
  - 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
- ⑤ **使用しない場合は、きちんと保管してください。**  
乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。

## ⚠ 警告

- ⑥ **無理して使用しないでください。**  
安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。
- ⑦ **作業に合った電動工具を使用してください。**
  - 小形の電動工具やアタッチメントは、大形の電動工具で行う作業には使用しないでください。
  - 指定された用途以外に使用しないでください。
- ⑧ **きちんとした服装で作業してください。**
  - だぶだぶの衣服やネックレスなどの装身具は、回転部に巻き込まれる恐れがあるので、着用しないでください。
  - 屋外で作業する場合には、ゴム手袋と滑り止めの付いた履物の使用をお勧めします。
  - 長い髪は、帽子やヘアカバーなどでおおってください。
- ⑨ **保護メガネを使用してください。**  
作業時は、保護メガネを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
- ⑩ **防音保護具を着用してください。**  
騒音の大きい作業では、耳栓、イヤマフなどの防音保護具を着用してください。
- ⑪ **コードを乱暴に扱わないでください。**
  - コードを持って電動工具を運んだり、コードを引っ張ってコンセントから抜かないでください。
  - コードを熱、油、角のとがった所に近づけないでください。
- ⑫ **加工する物をしっかりと固定してください。**  
加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。  
手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
- ⑬ **無理な姿勢で作業をしないでください。**  
常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
- ⑭ **電動工具は、注意深く手入れをしてください。**
  - 安全に能率よく作業していただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - 注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - コードは定期的に点検し、損傷している場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。
  - 延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - 握り部は、常に乾かしてきれいな状態を保ち、油やグリースが付かないようにしてください。
- ⑮ **次の場合は、電動工具のスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。**
  - 使用しない、または修理する場合。
  - 刃物、トイシ、ビットなどの付属品を交換する場合。
  - その他、危険が予想される場合。

## ⚠ 警告


- ⑩6 調節キーやスパナなどは、必ず取りはずしてください。  
電源を入れる前に、調節に用いたキーやスパナなどの工具類が取りはずしてあることを確認してください。
- ⑩7 不意な始動は避けてください。  
●電源につないだ状態で、スイッチに指を掛けて運ばないでください。  
●電源プラグをコンセントにさし込む前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
- ⑩8 屋外使用に合った延長コードを使用してください。  
屋外で延長コードを使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルを使用してください。
- ⑩9 油断しないで十分注意して作業を行ってください。  
●電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業のしかた、周りの状況など十分注意して慎重に作業してください。  
●常識を働かせてください。  
●疲れているときは、使用しないでください。
- ⑩20 損傷した部品がないか点検してください。  
●使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また、所定機能を発揮するか確認してください。  
●可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他、運転に影響を及ぼすすべての箇所に異常がないか確認してください。  
●損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、修理をお買い求めの販売店に依頼してください。  
●スイッチが故障した場合は、お買い求めの販売店に修理を依頼してください。  
●スイッチで始動および停止操作のできない電動工具は、使用しないでください。
- ⑩21 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。  
この取扱説明書および当社カタログに記載されている指定の付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因になる恐れがあるので、使用しないでください。
- ⑩22 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。  
●この電動工具は、該当する安全規格に適合しているので改造しないでください。  
●修理は、必ずお買い求めの販売店に依頼してください。ご自身で修理しますと、事故やけがの原因になります。

### ○騒音防止規制について

騒音に関しては、法令や各都道府県などの条例で定める規制があります。ご近所に迷惑をかけないように、規制値以下でご使用になることが必要です。状況に応じ、しゃ音壁を設けて作業してください。

# 二重絶縁について

電気の流れる所と外観部分との間が、異なる二つの絶縁物で絶縁されていることを言います。たとえ一つの絶縁物がこわれても、もう一つの絶縁物で保護されていて感電しにくくなっています。

お求めの製品は二重絶縁構造であり、銘板に  マークで表示してあります。異なった部品と交換したり、間違って組立てたりすると二重絶縁構造でなくなります。電気系統の分解、組立や部品の交換はお買い求めの販売店に依頼してください。

## 本製品の使用上のご注意

先に電動工具として共通の注意事項を述べましたが、チェーンソーとして、さらに次に述べる注意事項を守ってください。

### ⚠危険

#### 高所での枝打ち、枝払い作業について

木の上及び高所（2メートルを越える箇所）での作業は、足場が不安定になり非常に危険です。以下の内容を守り、安全に作業してください。

また、作業前に販売店または専門の技術指導を受け、十分に訓練した上で作業してください。

- ① 高所作業用機器（高所作業車、木登り機など）を使用し、安定した足場を確保すると同時に安全帯（芯入り）を必ず着用し身体をしっかり固定させてください。
- ② 片手持ち作業、腕を伸ばしてのチェーンソー操作は行わないでください。作業範囲は作業者の肩から腰の高さとし、それ以外では作業しないでください。

### ⚠警告

- ① 使用電源は、銘板に表示してある電圧で使用してください。表示を超える電圧で使用すると、速度が異常に速くなり、けがの原因になります。
- ② チェンソーを雨中や湿気の多い所で使用したり、放置しないでください。感電の恐れがあります。
- ③ 使用中は、本体を両手で確実にハンドルを保持してください。機体のはね返り（キックバック）によるけがの原因になります。
- ④ チェン刃は、取扱説明書に従って正しく取付けてください。誤った取付け方をすると、ガイドバーからチェン刃がはずれ、けがの原因になります。
- ⑤ はしごや木に登って作業するなど、不安定な姿勢で使用しないでください。けがの原因になります。

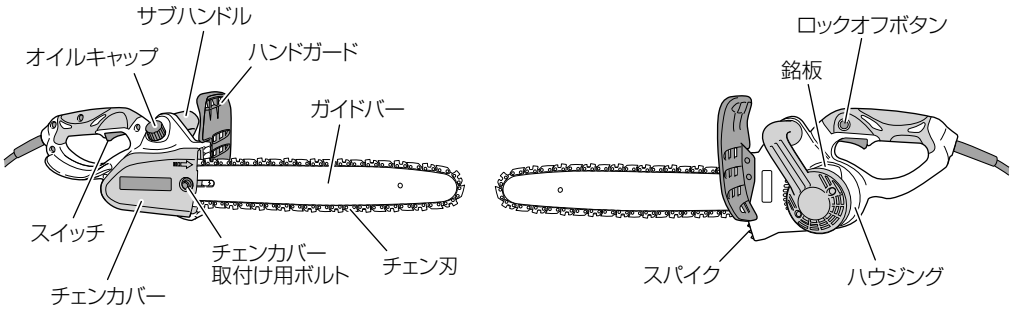
## ⚠ 警告

- ⑥ 肩の高さより高い位置で使用しないでください。  
けがの原因になります。
- ⑦ ガイドバーの先端部で切断しないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。  
機体がはね返り（キックバック）、けがの原因になります。
- ⑧ 使用中は、チェン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。  
けがの原因になります。
- ⑨ 他の人を 15 m 以内に近づけないでください。  
また、二人以上で作業する場合も、15 m 以上離れてください。
- 飛散物が当たるなど、思わぬ事故の原因になります。
  - 傾斜地などの足場が悪い場所での作業では、他の作業者に危険がないことを確認してから作業してください。
  - 呼び笛を準備するなど、他の作業者との連絡方法をあらかじめ決めておいてください。
- ⑩ 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買い求めの販売店に点検・修理を依頼してください。  
そのまま使用していると、けがの原因になります。
- ⑪ 誤って落としたり、ぶつけたときは、チェン刃、ガイドバーや機体などに破損や亀裂、変形がないことをよく点検してください。  
破損や亀裂、変形があると、けがの原因になります。
- ⑫ **〔事業者の方へ〕** 樹木を切り倒す作業や切り倒した樹木を切断する作業を行う場合は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行わせてください。
- |      |            |                |
|------|------------|----------------|
| 関連法令 | 労働安全衛生法    | 第 59 条第 3 項    |
|      | 労働安全衛生規則   | 第 36 条第 8 号の 2 |
|      | 安全衛生特別教育規程 | 第 10 条の 2      |

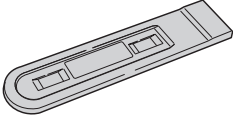

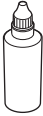
## ⚠️注意

- ① 使用中、コードを切断しないように注意してください。万一、コードを傷つけたり、誤って切断した場合は、直ちに電源プラグをコンセントから抜いてください。  
感電の恐れがあります。
- ② 使用しないときは、ガイドバーにチェンケースをし、チェン刃がむき出しにならないようにして、お客様の手の届かないところに保管してください。  
けがの原因になります。
- ③ スイッチを入れるとき、チェン刃が材料や他のものに当たっていないことを確認してください。  
機体が引っ張られたり、戻されたりして、けがの原因になります。
- ④ 作業中は、手袋、保護メガネを使用し、履物は滑りにくいものを着用してください。  
けがの原因になります。
- ⑤ 材料に石、釘などの異物がないことを確かめてください。  
チェン刃が石などに当たると、けがの原因になります。
- ⑥ 切断材料は、確実に固定してください。また、切り落とし材に十分注意してください。  
けがの原因になります。
- ⑦ 切り落とし寸前や切断中に材料の重みで、ガイドバーが材料にはさみ込まれないように、切断する部分に近い位置を支える台を設けてください。  
ガイドバーがはさみつけられると、けがの原因になります。
- ⑧ 運転させたまま、台や床などに放置しないでください。  
けがの原因になります。

# 各部のなまえ



# 標準付属品

		
チェンケース	六角棒スパナ	チェンオイル (50 mL)
1 個	1 個	1 個



# ご使用前の準備

●作業場は整頓し、明るくしてお使いください

●漏電しゃ断器の設置をおすすめします

万一の感電防止のため、漏電しゃ断器の設置をおすすめします。

●延長コードを使う場合

## 警告

延長コードは損傷のないものを用意してください。

電気が流れるのに十分な太さのできるだけ短いコードをご使用ください。  
右表は使用できるコードの太さ（導体公称断面積）と、最大の長さです。

コードの太さ (mm <sup>2</sup> )	最大の長さ (m)
1.25	10
2	15
3.5	30

# ご使用前の点検

## ⚠ 警告

万一の事故を防止するため、手順①～④については、電源プラグをコンセントにさし込む前に確認してください。

### 1 スイッチが切れていることを確かめる

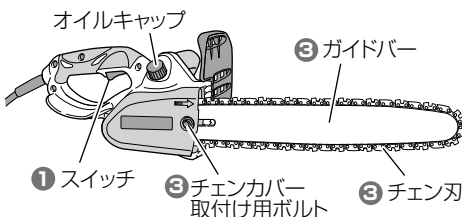
- スイッチが入っているのを知らずに電源プラグをコンセントにさし込むと、不意に機体が起動し、思わぬ事故の原因になります。
- スイッチはロックオフボタンを押しながら引くと入り、はなすと切れます。

## ⚠ 警告

ロックオフボタンを押し込んだ状態で固定しないでください。  
誤ってスイッチを引いたとき、不意に動き出しけがの原因になります。

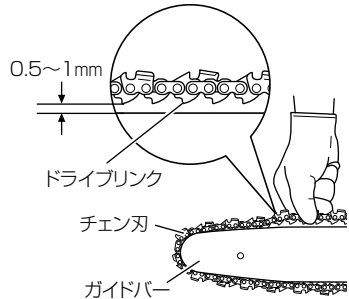
### 2 電源を確かめる

- お求めのチェンソーは 100V 用です。200V 電源に接続すると、モーターの回転が異常に速くなり、破損する恐れがあります。
- 直流電源で使用しないでください。チェンソーの損傷をまねくだけでなく危険です。

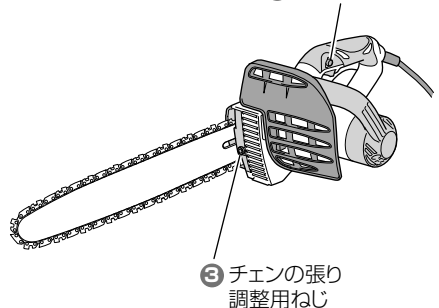


### 3 チェン刃の張り具合を確かめる

- チェン刃が適切に張られていないと、チェン刃やガイドバーを傷め、故障の原因になります。P.16の④～⑥をご覧ください。適切に張られていることを確かめてください。
- チェン刃が新しい間は、特に伸びやすいので、ときどき張り具合を点検し、調整してください。
- チェンカバー取付け用ボルトの締付けも点検してください。

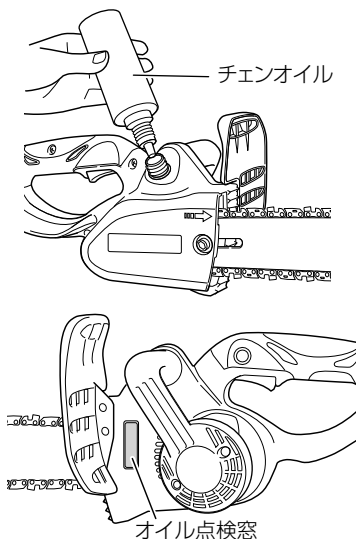


### ① ロックオフボタン



## 4 チェンオイルを確認する

- 本機はチェンオイルを入れないで出荷しています。ご使用前に必ず、オイルタンクに付属のチェンオイルを入れてください。
- 作業中もオイル点検窓から時々確認して、少なくなったら補充してください。
- 付属のチェンオイルがなくなりましたら、市販のモーターオイル SAE20 または SAE30 をご使用ください。

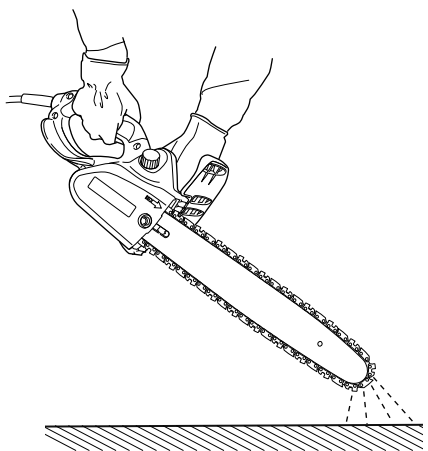


## 5 コンセントを確かめる

コンセントががたついたり、電源プラグが抜けるようだと修理が必要です。そのまま使用すると危険です。電気工事店にご相談ください。

## 6 チェンオイルの吐出を確かめる

- スイッチを入れるとチェン刃、ガイドバーに自動的にチェンオイルが給油されます。
- 2～3分回転させてもオイルが出ない場合には、オイルの吐出口回りに切粉がたまっていないか確認してください。(P.17「ガイドバーの掃除」参照)



**注** ●チェンオイルは、余分に買い置きしておくことをおすすめします。

チェンオイルがない状態で作業を続けると、チェン刃の焼付きや、モーター故障の原因になります。

●チェンオイルは、指定の油を使用してください。

油の種類によっては、プラスチック部品に悪影響を及ぼすことがあります。

●オイルタンクにごみなどが入らないように気をつけてください。

ごみなどの異物が入ると、故障の原因になります。

# 木材を切断する

- 切り方の基本
- 枝落とし
- 玉切り
- 伐採作業

## ⚠ 警告

- 使用中は、両手で確実にハンドルを保持してください。
- 使用中は、チェン刃、ガイドバーや回転部に手や顔などを近づけないでください。
- 木材の下側から切込みを入れる場合、チェン刃を木材に強く当てないでください。  
機体が押し戻され、けがの原因になります。
- 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切ってください。
- 作業中断時や作業後は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

## ⚠ 注意

- 使用中、コードを切断しないように注意してください。
- 材料は、確実に固定してください。また、切落とし材に十分注意してください。
- スイッチを入れるとき、チェン刃が材料や他のものに当たっていないことを確認してください。
- 使用中、チェン刃が別の材料や他のものに触れないように注意してください。特に、切終わりのとき、地面に接触しないよう注意してください。

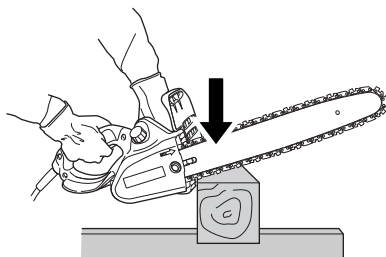
**注** オイルタンクが空にならないよう早目に油を補給してください。

## ● 切り方の基本

チェン刃が木材に触れない状態でスイッチを入れ、チェン刃のスピードが上がってから切断を始めます。

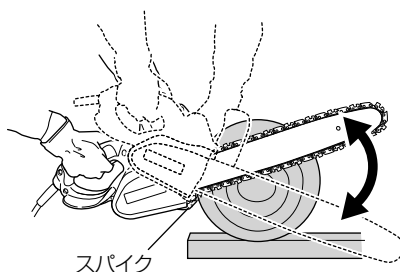
### 細い木材の切断

ガイドバーのつけ根付近を木材に軽く押しつけて切断します。



### 太い木材の切断

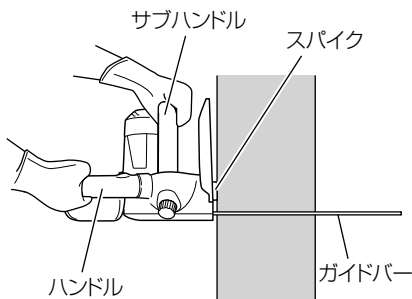
本体の前部についているスパイクを切断する木材に当て、このスパイクを支点として、テコ運動をしながら切断します。



## 木材を水平に切断

ガイドバーが下側になるよう機体を右側に倒した状態で、サブハンドルの上側を左手で持ちます。

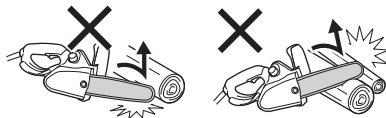
ガイドバーを水平にして機体の前部についているスパイクを木材に当て、このスパイクを支点としてハンドルを右に回すようにして切込みます。



## ⚠ 警告

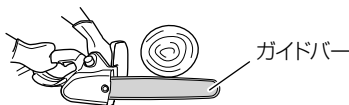
ガイドバーの先端部での切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないように作業してください。

機体のはね返り（キックバック）けがの原因になります。



## 木材の下側に切込みを入れる

ガイドバーの上側を木材に軽く当てます。



## ● 枝落とし

### ⚠ 警告

- 落ちてくる枝から、安全に避難できるように注意してください。
- 小枝を切るときには、チェンソーがはね返ることがありますので注意してください。

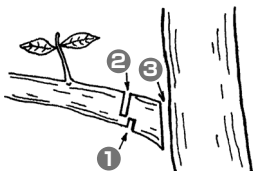
### 立木の枝落とし

太い枝は、まずつけ根から少しはなれたところを切落とします。

① 下側から3分の1くらい切込み、

② 上側から切落とします。

最後に、残りの部分を③つけ根から切落としてください。



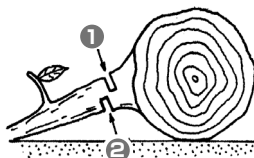
### ⚠ 注意

- 地面に当たっている枝は丸太の重量を受けているので、切るときにガイドバーをはさまないように注意してください。
- 切終りに丸太がころがることもあるので、注意してください。

### たおれた木の枝落とし

地面に当たっていない枝から切落とし、その後地面に当たっている枝を切ります。

地面に接触している太い枝は、①上側から半分くらい切込み、②下側から切込み、枝を落とします。



## ● 玉切り

### ⚠ 警告

傾斜地で作業する場合は、必ず、木材の上方で作業してください。

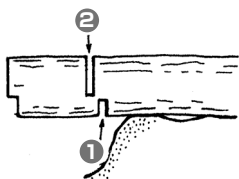
下方で作業すると、切落とした木材が転がってくる恐れがあり、けがの原因になります。

### ⚠ 注意

切断の際に、ガイドバーがはさまれないように注意してください。

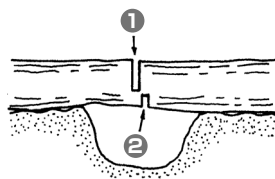
#### 先端部分の切断

- ① 下側から3分の1くらい切込み、
- ② 上側から切落としてください。



#### くぼみを利用した切断

- ① 上側から3分の2くらい切込み、
- ② 下側から切通してください。



## ● 伐採作業

### ⚠ 警告

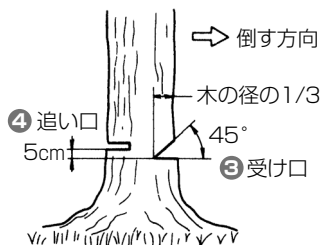
木が倒れる方向をよく確認してから、退避場所へ退避してください。

### ⚠ 注意

- 切断の際に、ガイドバーがはさまれないように注意してください。
- 傾斜地で作業する場合は、木の倒れる方向に注意してください。

#### 樹木の伐採

- ① 木の形状や周囲の状況を考慮し、木を倒す方向を決めます。
- ② 木のまわりの障害物を取除くと同時に安全な退避場所を決めておきます。
- ③ はじめに倒そうとする側に受口を切込みます。受口は木の直径 1/3 くらいが適当です。
- ④ 受口の反対側で受口の下面より 5 cm 程度高い位置より追口を切込みます。
- ⑤ 木が倒れはじめたら、スイッチを切り、あらかじめ決めておいた退避場所へ退避します。



# チェーン刃の目立て

## ⚠ 警告

万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

チェーン刃の切れ味が悪くなると、モーターや機体の各部に無理をかけ、能率も悪くなります。

本機的能力を発揮するためには、チェーン刃をまめに手入れし、切れ味の良い状態にしておくことが必要です。

## ⚠ 注意

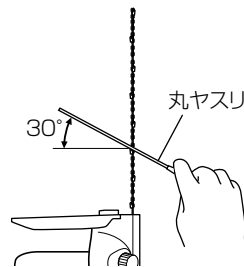
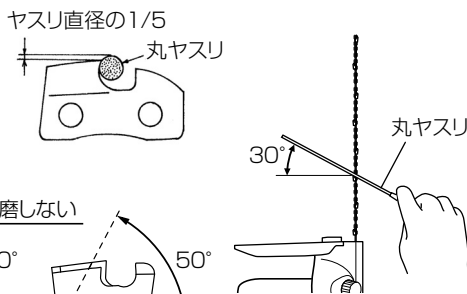
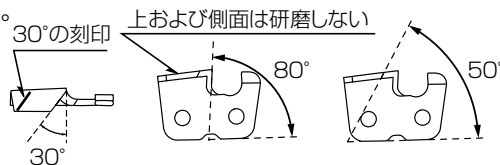
手袋を着用し、チェーン刃でけがをしないよう注意してください。

**注** 目立ておよびデプスゲージの調整は、チェーン刃を機体に取付けたまま、ガイドバーの中央部で行ってください。

## ●目立て

別売の丸ヤスリを使用し、丸ヤスリ直径の1/5をチェーン刃の上に出して、30°の角度で水平にすべてのチェーン刃をヤスリがけしてください。

すべてのチェーン刃の角度がそろっていないと、曲って切れることがありますので注意してください。



## ●デプスゲージの調整

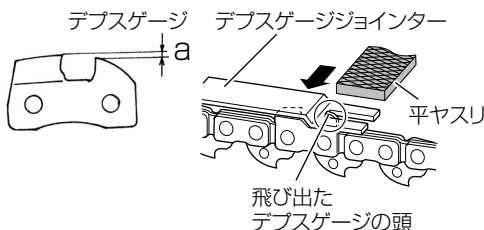
図の寸法 a をデプスゲージと呼びます。

デプスゲージは切込み量を決める重要な寸法で、本機のチェーン刃の場合は0.5 mmが最適です。

目立てをしますとデプスゲージがだんだん小さくなります。

目立てを3～4回行うごとに、図のようにデプスゲージジョインターを当て、デプスゲージジョインターの溝から上に出るようでしたら、平ヤスリでスリ落してください。

**注** この作業は別売のデプスゲージジョインターと市販の平ヤスリを使用してください。



# チェーン刃の交換

## ⚠ 警告

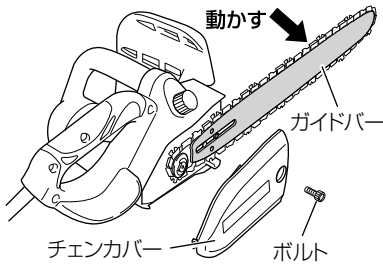
万一の事故を防止するため、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

## ⚠ 注意

手袋を着用し、チェーン刃でけがをしないよう注意してください。

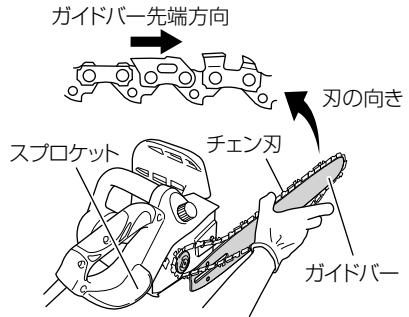
## 1 チェーン刃、ガイドバーを取りはずす

- 付属の六角棒スパナでボルトをゆるめ、チェンカバーをはずします。
- ガイドバーの先端を矢印の方向に動かすと、ガイドバーがはずれ、チェーン刃もスプロケットからはずせません。



## 2 新しいチェーン刃をスプロケットにかみ合わせる

ガイドバーの先端にチェーン刃の向きに注意してはめこんだ後、チェーン刃をスプロケットに正しくかみ合わせます。



**注** • チェーン刃の取外しの際には、オイル吐出口、オイル穴、ガイドバー溝およびその周辺の切粉を取除いてください。

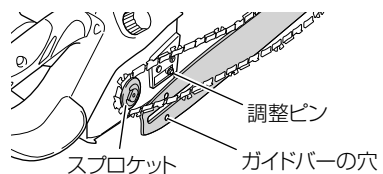
切粉などがたまっていると故障の原因になります。

- チェーン刃は仕様にも明記してある正しいタイプのもを使用してください。

誤ったタイプを取付けるとガイドバーからチェーン刃がはずれ、けがの原因になります。

## 3 チェーン刃をガイドバーにはめこむ

- 調整ピンがガイドバーの穴に入るようにして、本体の取付け部にガイドバーを合わせてから、チェーン刃をガイドバーの溝にはめこみます。
- チェンカバーを取付け、ボルトを軽く締めます。

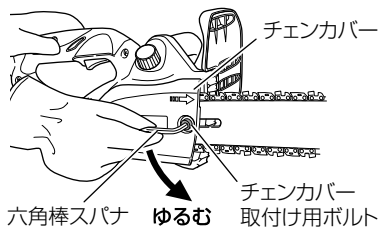




# 4

## チェンカバー取付け用ボルトをゆるめる

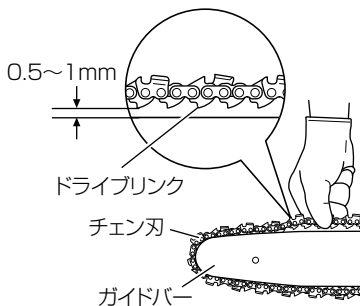
- チェン刃の張りを調整する際は、チェンカバー取付け用ボルトがゆるんだ状態で行います。
- 付属の六角棒スパナを使い、ボルトをゆるめてください。
- ボルトはゆるめるだけで、はずす必要はありません。



# 6

## チェン刃の張りを確かめる

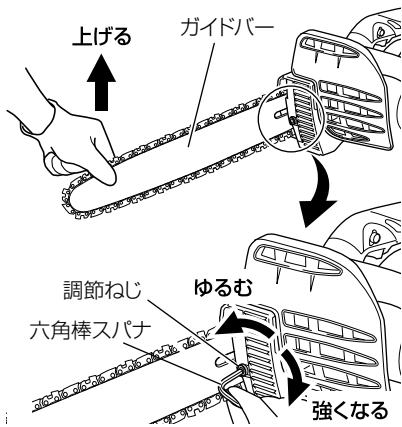
チェン刃の張りは、ガイドバーの中央付近でチェン刃を軽く持ち上げたとき、チェン刃のドライプリングとガイドバーのすき間が 0.5 ~ 1 mm 程度となるように調整します。



# 5

## チェン刃の張りを調整する

- ガイドバーの先端を持ち上げながら、付属の六角棒スパナで調整ねじを回し、チェン刃の張りを調整します。
- 調整ねじを右に回すとチェン刃の張りは強くなり、左へ回すとゆるくなります。



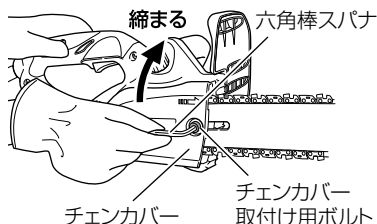
## ⚠ 警告

調整後、チェンカバー取付け用ボルトが十分締まっていることを確認してください。  
ゆるんでいると、けがの原因になります。

# 7

## チェンカバー取付け用ボルトを締める

調整が終了したら、チェンカバー取付け用ボルトを十分締付けてください。



# 点検とお手入れ

## ⚠ 警告

点検・手入れの際は、必ずスイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いておいてください。

## ⚠ 注意

手袋を着用し、チェン刃でけがをしないよう注意してください。

### ● チェン刃の点検

- ときどきチェン刃を点検し、異常がある場合は、P.15「チェン刃の交換」に従い、新品と交換してください。
- チェン刃の張りを点検し、正しく張られていない場合は、P.16の④からの手順で調整してください。
- 切れ味が悪くなったらそのまま使用せず、P.14の「チェン刃の目立て」を参照し、目立てをしてください。
- ご使用後はさび止めのため、ガイドバーとチェン刃に十分チェンオイルを回してください。

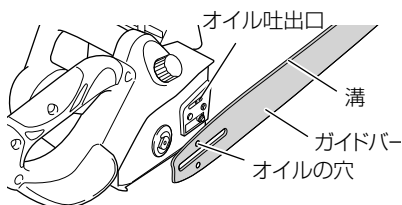
### ● 取付ねじの点検

時々点検して、ゆるんでいたら、締直してください。  
そのまま使用すると危険です。

### ● ガイドバーの掃除

ガイドバーの溝やオイルの出る穴に切粉などがつまると、オイルが回らなくなり故障の原因になります。

使用後およびチェン刃の交換時などにはガイドバーをはずし、溝などに入った切粉を取除いてください。(P.15「チェン刃の交換」参照)



### ● 本体はきれいに

石けん水に浸した布でふいてください。  
ガソリン、シンナー、ベンジン、灯油類はプラスチックを溶かす作用がありますので使わないでください。

## ● 製品や付属品の保管

タンクに残ったチェンオイルが漏れることがあります。故障ではありませんが、保管場所が汚れることもありますので、ご注意ください。

保管するときは、オイルタンク内のオイルを抜いて空にし、本体の下にはオイルが付いてもよい物を敷いてください。

また、チェンケースを取付け、下記のような場所は避け、安全で乾燥した場所に保管してください。

**注** ● お子様の手が届いたり、簡単に持ち出せる場所には保管しない。

- 軒先など雨がかったり、湿気のある場所には保管しない。
- 温度が急変する場所、直射日光の当たる場所には保管しない。
- 引火や爆発の恐れがある揮発性物質の置いてある場所には保管しない。

## ● モーター部の取扱について

モーター部の巻線は工具本体の重要な部分です。

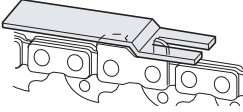
巻線にキズ、洗油および水をつけないよう十分に注意してください。

**注** ごみやほこりを排出するため、定期的に、モーターを無負荷運転させて、湿気のない空気をハウジング下方の風穴から吹き込んでください。  
モーター内部にごみやほこりがたまると、故障の原因になります。

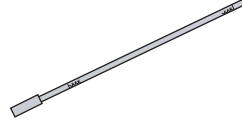
# 別売部品の紹介

別売部品は本製品をお買い求めの販売店でお求めください。  
(別売部品は生産を打ち切ることがありますので、ご了承ください。)

デブスゲージジョインター



丸ヤスリ



# 故障かな・・・というときは

次の内容を点検してください。それでも直らない場合はお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

症 状	考えられる原因	処 置	参 照 ページ
<b>モーター音は するがチェーン刃が</b> ・動かない ・動きが悪い	チェーン刃がスプロケットからはずれている	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェーン刃の張り具合を確認して、異常にゆるい場合、チェーンカバーをはずして、スプロケットにチェーン刃が正しくセットされているか確認してください。</li> </ul>	P.15
	チェーンカバー内に… →切粉がつまっている →異物が引っ掛かっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェーンカバーをはずしてチェーンカバー内を清掃してください。</li> </ul>	P.17
	ガイドバーの溝に… →切粉がつまっている →油が回らない	<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドバーの溝やオイル穴を清掃してください。</li> <li>オイルタンクにオイルが入っているか確認して、なくなっていたら補充してください。</li> </ul>	P.10 P.17
<b>切れ味が悪い</b>	チェーン刃が… →摩耗している →さびている	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェーン刃を目立てしてください。</li> <li>摩耗や、さびがひどいときは新しいチェーン刃と交換してください。</li> </ul>	P.14 P.15
	チェーン刃の向きが逆になっている	<ul style="list-style-type: none"> <li>正しい向きに付け直してください。</li> </ul>	P.15
	チェーン刃の張りがゆるい	<ul style="list-style-type: none"> <li>チェーン刃の張りを確認して、ゆるい場合は張りを強めてください。</li> </ul>	P.16

# 仕 様

形 名	TCS 30SA	TCS 35SA
項 目		
使 用 電 源	単相交流 50/60 Hz 共用 電圧 100 V	
チ ェ ン 刃	90 SG-45 E	90 SG-52 E
バーサイズ(最大切断長さ)	300 mm	350 mm
無負荷チェーンスピード	6.4 m/s	
全 負 荷 電 流	8.1 A	
消 費 電 力	770 W	
モ ー タ ー	単相直巻整流子モーター	
質 量 ( コードを除く )	2.2 kg	2.3 kg
コ ー ド	2 心キャブタイヤケーブル 2 m	
オイルタンク容量	80 mL	

## ご修理のときは

この製品は、厳密な精度で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合は、決  
してご自身で修理をなさないでお買い求めの販売店にご依頼ください。  
ご不明のときは、裏表紙の営業所にご相談ください。また、部品ご入用の場合や取扱い  
上でお困りの点がありましたら、ご遠慮なくお問い合わせください。

# 保証書

形名	TCS 30SA TCS 35SA	保証期間	本体：1年 (付属品は除く)
----	-------------------	------	-------------------

※お買い上げ日		年	月	日	製造番号
※お客様	お名前				
	ご住所	〒			
※販売店	住所	〒 電話 ( )			
	店名				

※印欄に記入のない場合は無効となりますので必ずご確認ください。

## ●保証規定

- 取扱説明書の注意書に従った正常な使用状態で故障した場合には、お買い上げの販売店にご連絡の上、本保証書を添えてご依頼ください。
- 保証書の有効期限は、お買い上げ日より1年といたします。
- 保証期間内の修理は無償といたします。
- 保証書の期間経過後は、有料修理とさせていただきます。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
  - お買い上げの販売店の捺印及び記入欄に未記入、あるいは字句を書換えられた場合。
  - 保証書を紛失したり提示がない場合。
  - 取扱説明書の注意書にそわず間違った使用をした場合。
  - 不当な修理や改造をされた場合又は純正部品以外の使用で生じた故障。
  - 火災・地震・水害・公害その他特殊な外部要因に起因する故障及び損傷。
  - 時の経過による変化で発生した不具合(塗装面などの自然退色とか機能に影響のない音、振動、オイルのにじみ)
  - 一般消耗品で自然消耗、破損と認められるもの。
  - 長期保管(1か月以上)し、劣化した燃料を使用しているエンジン焼付き、気化器の詰まりなど。
- レンタル、リースについては、保証適用の対象外となります。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。
- 本書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

## 工機販売株式会社 タナカブランドグループ全国営業拠点

●東京営業所 TEL (047) 475 - 8553	●名古屋営業所 TEL (052) 589 - 6868
●札幌営業所 TEL (011) 896 - 3466	●大阪営業所 TEL (0726) 32-8015
●東北営業所 TEL (022) 390 - 5227	●九州営業所 TEL (0942) 92-6077

製造元：工機ホールディングス株式会社

販売元：工機販売株式会社

〒143-0006 東京都大田区平和島5丁目5番36号

(株)日立物流平和島物流センター5F TEL 03-5753-7700(代)